

群馬県作業療法士会 令和6年度第2回理事会 議事録

日 時：2024年7月31日（水）19:00～20:30
会 場：Zoom 使用でのリモート会議参加者：新井、石森、今村、小此木、勝野、唐澤、木村、高坂、小林、関根、都丸、長谷川、山浦、山口、吉岡、李、以上 16名（50音順に表記）

I. 各部議事

1. 新井会長

1) 報告事項

7/8 日本作業療法士協会 48委員会に参加した。

2) 審議事項

①一般社団法人群馬県言語聴覚士会主催「言語聴覚の日」市民公開講座後援依頼

「失語症って何だろう？みんなで知ろう！考えよう！」というテーマで、一般社団法人群馬県言語聴覚士会主催「言語聴覚の日」市民公開講座後援依頼が

きている。承諾の可否について審議したい。日時：令和6年9月7日（土）13:00～16:00 場所：群馬パース大学 1号棟大講義室講演「皆さんに伝えたいこと～支えあう社会のために～」講師 東京海上日動火災保険「笑顔の授業」リーダー 池田 博之氏（失語症当事者）ワークショップ「失語症者とのコミュニケーション疑似体験」

審議結果：承諾することで決定した。

②日本集団精神療学会第42回学術大会後援依頼

日本集団精神療学会より、下記学術大会の後援依頼があった。承諾の可否について審議したい。

日時：令和7年3月22日（土）～3月23日（日）場所：Gメッセ群馬

審議結果：承諾することで決定した。

2. 福祉用具委員会〔担当：柴田副会長・石森理事〕

1) 報告事項

①福祉用具相談支援システムおよび生活行為工夫情報事業の県士会員登録状況

令和6年7月29日時点において、福祉用具相談支援システムの登録者数は49件、相談件数は

2件。生活行為工夫情報事業は1件であった。引き続き事業内容について周知していく。

②福祉用具関連の研修依頼への対応について

伊勢崎佐波ケアマネジャーの会研修会より、福祉用具に関する研修依頼があった。実施は9月を予定しており、講師は美原記念病院 石森卓矢とする。

③令和6年度補装具費支給制度書面ヒアリング

日本作業療法士協会を通じて、厚生労働省 障害保健福祉部 自立支援振興室より、補装具費支給基準告示の次期改定に向けての書面ヒアリングがあった。各ブロック長を通じて県士会員より意見を募っている。

④生活行為工夫情報事業ブロック会議について

7/5 日本作業療法士協会生活行為工夫情報事業東部ブロック会議に参加した。

2) 審議事項：

①群馬県介護支援専門員協会との福祉用具に関する研修会共催について

群馬県介護支援専門員協会との福祉用具に関する研修会を共催していきたい。

テーマは「チームで考える福祉用具活用方法」とし、令和7年1月15日（水）18:00～19:30にオンライン研修会を予定している。講師は群馬県作業療法士会石森卓矢。参加者は、作業療法士、介護支援専門員、福祉用具専門相談員とし、参加費は1000円を予定している。上記内容で研修会開催に向けて準備をすすめてよいか伺いたい。

審議結果：上記内容で研修会開催に向けて準備をすすめていくことが承認された。

3. 地域局〔柴田副会長・今村理事・小此木理事・山浦理事〕

1) 報告事項

①北中毛ブロック支部（小此木理事）特になし

②西毛ブロック支部（山浦理事）

・6月より高崎市の介護保険認定審査員を柴田副会長から山浦理事へ交代した。

・地域包括ケアフェスティバルに関連して、7月2日フェスティバル説明会、7月23日に代表者会議へ山浦理事が参加した。今年度、当士会は資料提供として参加する予定。

- ・7月26日に西毛ブロック主任代表者会議を行う予定。
- ・令和6年度補装具費支給制度、書面ヒアリングのメール配信を行った。

③東毛ブロック支部（今村理事）

- ・第26回群馬県作業療法学会の準備を進めた。
- ・桐生広域リハ主催会議に今村理事が参加した。
- ・令和6年度補装具費支給制度、書面ヒアリングのメール配信を行った。

④全体

- ・7月20日に行われた日本作業療法士協会主催の第1回地域事業支援会議に、地域局からは石森理事、小此木理事、山浦理事が聴講者として参加した。

2) 審議事項：なし

4. 教育部〔担当：勝野理事・今村理事〕

1) 活動状況会議：ブロック長会議 メールで随時審議を実施。

6/19にzoomにてリモート会議実施。

2) 報告事項

①令和5年度 現職者共通研修・選択研修・基礎ポイント研修（実施済の報告）

- ・現職者共通研修「作業療法生涯教育概論」

日時：2024/7/8 講師：松本 OTR（沼田脳外）

参加者：18名

- ・現職者共通研修「精神障害領域」

日時：未定

講師：米原 OTR（上之原）、鈴木 OTR（群馬医療）、

滝沢 OTR（群大病院）、大嶋 OTR（ふくる）

- ・基礎ポイント研修「3Dプリンター×ハンドスプリント

の可能性」

日時：2024/8/7 講師：近藤 OTR（群馬パース）、

射場 OTR（鳥取医大）

- ・基礎ポイント研修「意思伝達装置について」

日時：2024/12/14

講師：一場 OTR（美原記念病院）

場所：美原記念病院（対面）

②令和6年度 新人症例発表会日時：令和6年7月21日 会場：群馬医療福祉大学での対面開催統括：吉田 OTR

（群馬整肢療護園）発表者：36名

（査読希望者0名）事例検討者：13

名非会員：5名学生：13名

合計：96名（教育部スタッフは除く）

上記内容で開催した。研修会運営では特に大きなトラブルはなし。

約4年ぶりの対面開催であり、オンライン開催と比較し参加者の人数は多かった。

③その他

- ・2024年度名簿について

粕川グループ長が作成し、事務局へ提出した。

- ・生涯教育制度用PCについて 協会から生涯教育制度用のPC一式が貸与された。戸部SG長が管理する。

- ・新生涯教育制度について

新生涯教育制度についてOT協会から送られてきた動画を部内で共有した。

2) 審議事項：なし

5. 地域作業療法推進部〔担当：高坂理事・山浦理事・吉岡理事〕

1) 報告事項

①地域包括ケア推進グループ（山口グループ長）

- ・令和6年6月28日付けで令和6年度群馬県地域医療介護総合確保基金事業費補助金を申請した。

- ・5月28日、6月28日に地域包括ケア推進グループ定例会議を実施した。

- ・7月20日に令和6年度第1回地域支援事業会議があり、当士会から選任者として新井会長、高坂、山口が参加した。また、聴講者として地域局より山浦理事、小此木理事、石森理事が参加した。

- ・ナイトセミナー開催が決定した。

「教えて！身近な専門職！病院・地域における生活支援の流れおよびMSWの役割」 日程：8月31日 形態：オンライン

講師：青木優一氏（群馬大学附属病院）

②認知症支援推進グループ（笹谷グループ長）

- ・6月12日に第3回目認知症G会議を開催した。（検討内容：研修企画など）

- ・令和6年度群馬県地域医療介護総合保険確保基金事業の研修会「認知症ケア資質向上のための研修会」を実施予定である（全2回）。

【第1回目】 日程：10月19日（土） 会場：たまごホール講師：藤生大我氏（内田病院）、

恩田初男氏(認知症の人と家族の会世話人)、
市川翔氏(市川クリニック)

【第2回目】日程：2月8日(土) 会場：たま
ごホール講師：未定認知症に係る県民向け講
座の教材開発・作成事業の成果報告予定。

- ・5月26日、6月23日の「認知症の人と家族の
会」のつどいに笹谷・野村が参加した。
- ・群馬県から「認知症に係る県民向け講座の教材
開発・作成事業」を24年6月に受託した。既に
2回の会議を行い、24年12月末の納品を目指し
て作業を進めている。

③精神科領域推進グループ(加藤グループ長)・新
たに1名の部員が新規加入した。

- ・6月11日 第2回精神領域G会議を開催した。
(今年度の役割分担について)
- ・精神領域グループのSNS(X、Instagram)のアカ
ウントを開設し、運用を開始した。運用にあた
り、発達グループと広報の連携方法について確
認をした。
- ・7月26日「精神障害領域作業療法士向け 相談
会・雑談会」を開催した。会場：群馬医療福祉
大学形態：対面、ZOOMのハイブリッド
参加人数：19名(対面15名、オンライン4名)
- ・7月27日 ソーシャルバスケットボールキャ
ランに高坂が参加予定である。日本ソーシャ
ルバスケットボールキャラン協会側と、キャ
ランの広報等の在り方について意見交換を行
う。

④発達支援推進グループ(小田グループ長)

- ・6月4日、日本作業療法士協会制度対策部から
の

「特別支援教育での実践に関する実態調査
2024」アンケートに回答した。

- ・外部専門家派遣事業の依頼があり、2件受諾対
応、1件内容確認中(7月5日現在)。
- ・6月5日 第1回定期勉強会を実施した。
- ・「群馬県特別支援学校強化事業(外部専門家派
遣事業)登録者説明会」講師：小田俊一 参
加者：18名(群馬県作業療法士会会員)
- ・地域作業療法推進部精神科領域推進グループの
Instagramの開設協力し、連携について確認し
た。・6月12日 6月24日 研修企画委員会を開
催し、第2回定期勉強会について検討した。

第2回定期勉強会「どうしたらよかったの？
教えて先輩!!」日程：8月28日19時から21
時 形態：ハイブリッド、ZOOM 会場：群馬医
療福祉大学

対象：群馬県作業療法士会会員 作業療法学科学
生・「学校を理解して支援ができる作業療法士の
育成

研修会一実践編一」を開催予定である。

日程：11月2日(土)・3日(日) 会

場：群馬パース大学(予定) 形態：

対面

講師：酒井康年氏、本間嗣崇氏、吉岡和哉氏
(予定)

2) 審議事項：なし

- ・群馬県からの「認知症に係る県民向け講座の教
材開発・作成事業」の受託について、会計処理
は事務局運営事業費でお願いしたい。それに伴
い、年度事業報告も事務局の運営事業の枠組み
で報告する。実働は認知症グループを中心に対
応しているが、群馬県地域医療介護総合保険確
保基金事業もあり、会計処理が煩雑になる。認
知症グループの事業報告は「事務局運営事業に
おける教材作成事業の支援」とする →承認

6. 養成校連絡協議会 [担当：小林理事・高坂理
事]

1) 報告事項

①令和6年度臨床実習指導者講習会は、以下の
とおり実施予定である。

日時：2024年9月28日(土)～9月29日

(日) 場所：群馬大学昭和キャンパス

形式：対面開催人数：

50名

②9月1日(日)第26回群馬県作業療法学会に
おいて

「学生交流会」開催予定。

学生交流及び学生会員の周知を目標とする。

③臨床実習における学生アンケート結果報告
(2023年度) 李理事

2) 審議事項：なし

7. 広報部 [担当：都丸理事]

1) 報告事項

①公益事業グループ(グループ長：中澤)

- ・7月21日に開催された第3回ぐんま健康フェス
ティバルに参加した。出展内容は自助具の紹
介、脳トレを行った。当会ブースには約150名
程度の参加があった。今後も今回のようなイベ
ントへの参加、他団

体とのコラボレーションなど広報活動を開催していく予定。

②ニュース編集グループ（グループ長：大脇）

- ・今号よりグループ長が変更し作業を進めている。7月号より新たな試みとしてエッセイを掲載。現在、印刷作業中で7月25日に納品予定。
- ・10月、1月号の巻頭言の執筆をご協力頂ける先生方を探しています。推薦等ありましたら広報部関係またはニュース編集へ連絡頂けると有難いです。

③広報企画グループ（グループ長：金子）

- ・公益事業Gと合同で活動実施。各部と情報を共有し必要な外部情報の収集とまとめを行う。

2) 審議事項：なし

8. 福利厚生部 [担当：小此木理事、勝野理事]

1) 報告事項

①会員向けの不妊治療の啓蒙活動昨年のアンケートから県学会にて不妊治療の案内を行うため、厚生省が作成したパンフレットの配布または紹介を行っていく。学会長には連絡していく。

②県学会の表彰について審査を太田医療技術専門学校的小林先生、学会長に依頼予定。審査はシンポジウムの時間に実施していく予定。

③新人症例発表会でのオリエンテーション
県士会の説明等をPowerPointのスライドショーにて流していく予定。また、表彰の準備を行っていく。

④リレーフォーライフ

がん対策チャリティーイベントへの参加を進めている。

リレーフォーライフの参加についてのチラシを配布するので、ご協力をお願いしたい。

今年度は作業療法士の参加者が一体感を感じながら参加できるようビブスを購入していく。また、一般の参加者向けに各参加団体でノベルティを配布していく。作業療法士会もノベルティを用意し配布していきたい。参考程度であるが、去年は理学療法士協会ではインスタントコーヒーなどに名前を入れて配布していた。

⑤表彰規定

表彰規定を作成したので確認をお願いしたい。

2) 審議事項：なし

9. 全国訪問リハビリテーション学術大会 in 群馬
[担当：小此木理事、都丸理事]

1) 報告事項

6月1、2日と日本訪問リハビリテーション学術大会 in 山形で次年度の群馬大会の案内と挨拶を行なった。

山形大会の参加者は500人～600人程度だった。

現在、企画会議や役員会議を随時行っており大会プログラムは概ね確定。

講師の先生から内諾も頂いているとの事。

ホームページも動き出した。今後、各士会や関係各所に掲載のお願いを手分けして行なっていく予定。

8月末から9月に実行委員会を開催する方向で調整中。

2) 審議事項：なし

10. 学術部 [担当：李理事・吉岡理事]

1) 報告事項

①学術研究グループ（近藤グループ長）

- ・4月23日に学術部研究グループの勉強会を実施した。
- ・県学会 査読管理業務を実施した。
- ・全国OT学会（高松）、群馬県作業療法学会への抄録登録に向けた月一回の勉強会を7月16日に実施した。

②学会支援グループ（秋山グループ長）

- ・5月23日に第26回群馬県作業療法学会の第2回実行委員会に参加した。当日運営マニュアルの作成や一般演題の登録状況について共有された。
- ・5月27日に学会会計業務の引き継ぎに関する打ち合わせを実施した。

③機関誌編集グループ（糸井グループ長）

- ・2024年度の機関誌への投稿3編あり。2編は査読終了。1編は進捗の催促をしているが連絡なく、次年度での掲載も検討。
- ・学会誌のデータ等、実行委員と協力して集集中。7月中旬にはゲラ刷り依頼予定。
- ・学会ポスター7/3に印刷依頼。事務局納品後、発送してもらう予定。

2) 審議事項：なし

11. 運転と作業療法特設委員会 [担当：李理事]

1) 報告事項

2024年6月29日（土）にzoomでぐんま自動車
運転リハビリテーション研究会と合同で世話人会
を開催した。

2) 審議事項：なし

12. 事務局 [担当：長谷川事務局長・石森副事務局長]

1) 協議事項

①表彰の印刷等の用意について

優秀賞等の表彰状、記念品等は、所轄する部署の予算にて、外注にて対応することを検討したい。協議結果：今後表彰状については福利厚生部が外注で対応していく。

②40周年記念式典に関して(2026年)

40周年記念式典の開催については前々回の理事会（3月13日）で開催することで議決されている。開催にかかわる実行委員会の組織化・立ち上げを決めていきたい。

実行委員長、事務総括（副実行委員長）、会計担当、表彰関係：式典運営・来賓関係、祝賀会運営、などの中核的な実行委員を選出し、そのメンバーで予算、日程、来賓、表彰、記念紙作成等を調整していく必要がある。

協議結果：実行委員会を今後たちあげていくが、3役で実行委員の推薦を検討していく。

③表彰等推薦候補者リストの作成について

推薦規定にもよるが、役員歴等の情報を収集していく

2) 審議事項

①HP研修会開催に関する審議 ※HP掲載要件：掲載可能な団体は作業療法及びリハビリテーション関連の専門団体、行政、地方公共団体等に限る

・群馬県作業療法士会主催・共催・名義後援をしているもの

・群馬県作業療法士会の会員が主催するもの

・日本作業療法士協会主催・共催・名義後援をしているもの

・日本作業療法士協会認定 SIG 団体

・各道府県の作業療法士会が主催するもの

・リハビリテーション関連団体が主催・共催するもの

・行政、地方公共団体が主催・共催するもの

・その他理事会で承認が得られたもの

現状上記7項目については、事務局で確認したものを掲載。

判断に迷う場合については、理事会で承認が得られたものを掲載するという規約となっている。審議内容：一般社団法人チャイルドライフ研修会名：第36回ベルテール教育セミナー「コミュニケーションの土台作りと将来を見据えた関わり方」掲載の可否：掲載は否決する。

13. 第26回群馬県作業療法学会 [担当：石森理事、今村理事、小林理事]

1) 報告事項

①ポスター発送済、就職説明会ブース参加募集開始。

②当日運営マニュアルを整備がおおむね完了。③学会誌に関しては8月中旬には発送できるよう急ピッチで進めている。

④8/6 実行委員会開催予定

⑤7/26 時点において事前申し込み 53名（他県からも申し込み有）

2) 審議事項：なし

14. 財務部 [担当：高橋理事、小林理事]

1) 報告事項

①会費未納者への督促状を作成中。

②謝金、交通費等、手渡しご協力ありがとうございました。

③「確認書」の送付も複数名いただいている。

④9月中にできない場合、小林にご一報お願いします。

2) 審議事項：なし

Ⅱ. その他

1. 太田医療技術専門学校大学化について

太田医療技術専門学校が大学化を予定している。

(今年度申請予定) 群馬県作業療法

士会として大学設立の支援について承認するか検討したい。

審議結果：大学設立を支援することについて承認した。

2. 次回理事会

9月4日（水）19:00～ Zoomにて実施予定とする